



5年ぶりに競技参加！！

去った6月12日、奥武島のハーリーに出掛けてきました。といっても、今年は5年ぶりに職域ハーリーに参加！チームTシャツも作り、事前に練習もするなど気合十分！！新しく入った若手職員を中心に、利用者の応援も後押しとなり、前半は最初に折り返しの旗を通過！！ところが後半は失速してしまい、結局全体で3位（最後から(笑)）でフィニッシュ・・・くやしい結果となりましたが、参加した利用者は、久しぶりの応援を楽しんで頂いた様子。



午後の決勝には残れず、見せ場を作れなかったお詫びとして、今年久々に復活した『アヒル捕り』に挑戦！何とか結果を残そうと必死に頑張ったのですが、泳ぎの得意な人達にあれよあれよと言う間に先を越され、収穫ゼロでした・・・利用者の皆さんにはお祭りの雰囲気は十分感じて頂けたようですが、来年は、ハーリーでもアヒル捕りでも、今年以上の結果を残せるように頑張ります♡

夢・ドリームプラン【沖釣り】

新里恵助さん・大城正昌さん 6月30日（日）【天気は晴れ、潮は小潮】

仁愛から見る海はかなり穏やかで、風もなく、二人はいつもより少し早い5時30分起床で沖釣りの準備に入り、仁愛を7時に出発しました。職員は釣りバカのリーダー仲里新順を先頭に、砂川・伊禮が同行し2人のお手伝いに入りました。

今回は恵助さんの18歳になるお孫さんがおじいちゃんのドリームと一緒に手伝いたいと同行してくれました。孫のしゅんと君は釣り初心者で、沖釣りも初めてというホントの素人。本人は胸を弾ませてきましたが、船が出ると同時にダウン(+_) 沖では竿を握ることなく5時間寝ていました。岸からは穏やかに見えていた海は沖に行くとかかなりの荒れようで3人は船酔い。しかし、どうにかお土産を持たそうと職員二人が奮闘し、30匹近くを釣り上げる事が出来ました。

今回は海が荒れていたのと船酔いに泣かされ、いい成果はあがりませんでしたが、夢プラン自体はいい感じで成功だったと思います。

もう一度リベンジさせてあげたいです。今度は大漁をねがって海の男を見てみたいです。



★七夕☆(A棟風)★

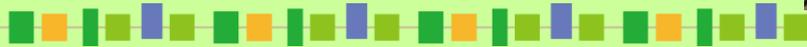


A棟では新しい試みで、廊下の壁にホワイトボードを設置し、利用者・職員 みんなで飾りつけや、絵を描いて楽しもう！という事になりました★



今回は七夕という事で、ホワイトボードに笹や、短冊、彦星様、織姫様を飾っています。

いつもは行事に興味のない利用者や、笑顔の見られない利用者も、短冊に書いた願い事をみ



★C棟Birthday party★



C棟では先日、3ヶ月に1度行われる。バースディパーティーを開催しました。今回は第2回目で、4月・5月・6月生まれの方をたくさんのC棟メンバーでお祝いしました♥



おいしいケーキとお菓子をほおぼりながら、皆で楽しく幸せな時間を過ごす事が出来ました★



誕生日の方には、職員からメッセージ入り手作りカードとお花をプレゼントしました♥今年も素敵な1年になるように、みんなで色々な事を楽しんでいきたいです★



梅雨も明け、暑い日が続いていますが、
熱中症対策はしていますか？

「熱中症とは…」

屋内外を問わず、高温や多湿等が原因となって起こります。
日射病とは違い、室内でも発症するケースが多く、
年々増加傾向にあるので、みなさんも健康管理に気をつけましょう。

【熱中症の予防には…】

- ①睡眠を十分にとる。
- ②暑さに慣れる。(冷房の設定温度は、外気温との差を5℃以内に！！)
- ③程度の水分を取る。(発汗によって失った水分と塩分の補給をこまめに行う)
※スポーツドリンクなどは、飲みやすいように糖분을配合している為、
摂りすぎに気をつけましょう
- ④作業を行う際は、十分に休憩を取りながら行う。

夏は日焼けにも
注意してね♥



ナース通信



19年間の仕事を振り返って

【 調理員 屋嘉部多美子 】

見るもの聞くのも初めての事で4人の子育てしながら、不安でいっぱい始めた調理員としての仕事です。19年があつという間にすぎ、定年を迎えます。思い起こせばいろいろなことを体験させていただきました。

園庭でのミニ運動会、招待客が近隣の人たちで賑わった納涼祭や20周年記念のバザー。職員間では親睦会のビーチパーティ、ウォークラリー等。利用者の皆さんや、同僚からいっぱい元気をいただき、調理の仕事も、初めて聞くメニューや新しい調理法等勉強になることがありました。

いろんな発見と経験をし、とても楽しく充実したお仕事をさせていただきました。定年後も引き続き、利用者の皆さんの美味しい食事作りにかかわり、この仕事を頑張ろうと思っていますので、よろしくお祈りします。

～～屋嘉部さんとペアでお仕事をして～～

【 調理員 玉寄 】

母親のようにやさしく、時には厳しく、計りの目盛の見方、野菜の切り方、食材の出庫等細かいところまで、教えてもらい一人前(?)になりました。定年を迎える屋嘉部さんが引き続き、働くことになり、とっても嬉しいです。

被災地からの声を聞き ～～災害時における食事を考える～～

病院・施設 被災アンケート報告（新潟中越地震・中越沖地震などの被災地から）

食事

- 非常食品を準備していたが不足した。
- 職員の食事を準備していなかった。
- 熱源・電源に支障が生じて柔らかくする・ミキサー状など、うまく調理できなかった。
- 水（飲料水や調理用）が不足した。
- 食品と食器が別々に保管されていて困った。
- 日が経つにつれ食事内容に不満が出てきて困った。
- （温かい食事・野菜が食べたい）
- 電気がストップし冷蔵・冷凍品等の品質管理で困った。

物資調達

- 休日のうえ電話が混乱し、連絡がなかなかとれなかった。
- 交通の寸断と納入業者の被災によって物資の納品に支障をきたした。
- 救援物資等の調理法がうまくいかなかった。
- 救援物資は届いていたが高齢者向けのものは少なかった。

食器調理器具

- 使い捨て食器が不足した。
- カセットコンロの熱量が小さく、調理できるものが限られた。また予備のカセットボンベが不足した。

先日、身心障害児者施設栄養士の連絡会で、災害時の備蓄食品についての研修会がありました。朝・昼・夕の3食の約一週間分(21回分)の備蓄が必要との事。園では大きな災害時想定での備蓄はしていませんが、日頃使う食品(缶詰類・乾物類・栄養補助食品等)を多めに保管し、日常の給食で利用しながら、台風時などに備えています。園庭でのキャンプで、薪で炊き出しを経験したいと思います

(栄養士)

沖縄のシンメナービの活用



